

学校図書館セット貸出し

# 東アジアセット

East Asia  
中学校向



国立国会図書館

国際子ども図書館

この冊子は、学校図書館セット貸出し「東アジアセット」（中学校向）の解説です。

児童生徒を指導する際の参考にご利用ください。

## 絵本

### くらやみのくにからきたサブサリ

チョン・スングク 絵・文 おおたけきよみ 訳  
アートン 2004年

### 까막나라에서 온 삽사리 (ハングル)

정승각글·그림  
초방책방 1994

韓国の絵本。光がなくて困っていた暗闇の国の王さまのために火を持ち帰ろうとし、太陽と月にかみついた犬から、黄金に光る黄サブサリと青く光る青サブサリが生まれた。サブサリという韓国固有の犬の由来について韓国に伝わる昔話をもとに現代韓国を代表する絵本作家が創作した物語。話には青龍や朱雀なども登場し、東洋に古代から伝わる宇宙観と韓国の神話的世界を知ることができる。

### ソリちゃんのチュソク

イ・オクベ 絵と文 みせけい 訳  
セーラー出版 2000年

### 솔이의 추석 이야기

이억배글·그림  
길벗어린이 1995

韓国のチュソク（秋夕）は日本のお盆にあたり、家族みんなでふるさとに戻り、先祖にお参りをする行事である。ソリちゃんと両親は、おばあちゃんや親戚と一緒に、故郷でチュソクを迎える。現代韓国の都会と田舎の様子、伝統的な風習などが、絵の中に丁寧に描き込まれており、興味深い。

### ねずみのおよめいり

モニカ・チャン 文 レスリー・リョウ 絵 高佩玲 訳  
河出書房新社 1994年

### 老鼠娶新娘 (台湾語)

張玲玲 文 劉宗慧 圖  
遠流出版 1992

猫におびやかされているねずみ村の村長さんは、猫より強い婿を迎えたいと考える。太陽に娘の婿になってくれと言うと、雲が太陽を隠してしまう。そこで村長さんは、今度は雲に声をかけて…。台湾の画家の美しい絵が映える大判の昔話絵本。

### ヤンヤンいちばへいく

周翔 作 文妹 訳  
ポプラ社 2006年

### 荷花镇的早市 (中国語)

周翔 文/圖  
二十一世紀出版社 2006

おばあちゃんの誕生日を祝うために田舎にやってきた都会育ちの男の子ヤンヤンは、早朝、メイおばちゃんと船で市場へ向かった。物売りやお芝居の声で活気に溢れ、人々の心の触れ合いのある市場。そこに惹かれていくヤンヤンの様子が淡く温かな色彩で伝えられる。著者が自身の幼年時代を思いながら5年の歳月をかけて描いた、日中同時出版の絵本。

## 昔話集

### けものたちのないしょ話：中国民話選

君島久子 編訳  
岩波書店 2001年

中国のさまざまな民族に語り伝えられた民話 27 編を収録。中国の広大な土地と多民族性、また話の豊かさが感じられる。中国の民話の中でも特に面白いものを選び、わかりやすく再話。1話の長さが程よいので、子どもたちにも読みやすい。クラスで読み聞かせをするのも良いだろう。解説には各話のあらすじが付されている。

### 子どもに語るモンゴルの昔話

蓮見治雄 訳・再話 平田美恵子 再話  
こぐま社 2004年

家畜や野生動物と共に生きてきたモンゴルの人々の間で生まれた昔話。「ツバメとアブ」、「石になった狩人」、「草原の白い馬」など全15話を収録。狩りや牧畜を主な仕事とし、ゲルという移動住居に暮らす遊牧民の生活をうかがい知ることができる。声に出して読み、子どもたちと口承文芸の世界を共有したい。

### チベットのものいう鳥

田海燕 編 君島久子 訳  
岩波書店 1977年

中国チベット族に語り伝えられている民話。賢い王子は、沈着な性格と強靱な精神がもてるようにと、金玉鳳凰を探しに行く。王子は鳳凰を見つけると、鳳凰の話に夢中になって、つい口を利いてはいけないという約束を破ってしまう。1つの大きな物語のなかに、異なる24の短編が含まれており、全体としてスケールの大きな話を構成している。

### ネギをうえた人

金素雲 著  
岩波書店 2001年

人間が牛に見えるため、人間同士が食べあっていたが、ネギを食べることで人が人として見えるようになる表題作「ネギをうえた人」、一面の泥沼だった世界に海や山ができたわけを語った「山や川」など、朝鮮の民話33話を収録。

## 知識の本

### 朝鮮を知る事典

伊藤亜人, 大村益夫, 梶村秀樹, 武田幸男, 高崎宗司 監修  
平凡社 2000年

項目編と地域・国名の2部構成。項目編は約1300項目を50音順に配列している。「国旗」の項目には、国旗の成り立ちや柄の意味、「音楽」には伝統音楽や音楽の歴史などが紹介されている。地域・国名には朝鮮史略年表、2つの朝鮮とその問題が書かれている。

### 写真でたどる中国の文化と歴史（「知」のビジュアル百科 23）

アーサー・コットレル 著 佐々木達夫 日本語版監修 中村慎一 訳  
あすなろ書房 2006年

中国文明は現在まで絶えることなく続いた世界最古の文明である。中国で生まれ世界を一変させた発明品である紙、印刷術、火薬、羅針盤等。「三絶」として知られる書、詩、画。漢方薬や鍼術といった中国医学。農村や都市の生活。これら中国の豊かな文化と歴史を、紀元前1650年の商の時代から現在まで約四千年にわたり、主に美術品の写真を用いて紹介している。巻末索引あり。

### 故宮／万里の長城（週刊ユネスコ世界遺産 34）

講談社 2005年

中国の世界遺産のうち、最も有名な故宮博物館と万里の長城について、写真を織り交ぜながら紹介している。歴史的背景についても詳細に書かれており、大人向けの解説ながらも子どもにもわかりやすい。中国の他の世界遺産についても簡単に触れられている。

### 日本とのつながりで見えるアジア過去・現在・未来

第1巻 東アジア 1 仲尾宏 著

第2巻 東アジア 2 江里晃 著

岩崎書店 2003年

神話や伝説が語る建国の時代、それに続く繁栄の時代、列強による侵略と内戦、そして現在。写真やキーワード解説が豊富で、各国・地域の地理と歴史がよくわかる。朱印船貿易や太平洋戦争など、日本とのかかわりについても詳しく触れられている。

### 韓国ってどんな国？（韓国まるごと大百科：国際理解に役立つ 1）

佐々木典子 監修 渡辺一夫 文・写真  
ポプラ社 2003年

韓国のことならなんでもわかる！シリーズ5冊のうちの1-3巻。1巻は、韓国の国土や自然、政治、経済、南北の軍事境界線、大都市と地方都市、交通、農業、漁業、マスコミ、環境問題、医療、教育を豊富な写真やグ

ラフを用いて1項目を2頁でまとめていてわかりやすい。

## 中国（体験取材!世界の国ぐに 11）

吉田忠正 文・写真 丹藤佳紀 監修  
ポプラ社 2007年

悠久の歴史を持つ中国の今を紹介。高層ビルが林立する上海、水田と茶畑の江南の農村、マイナス20℃になる東北の長春、雲南省の少数民族ナシ族の村、と様々な暮らしを取り上げる。子どもの学校生活では、小学校からある英語の授業、クラブ活動などを紹介している。資料編で歴史、基本データを概説する。

## 草原の少女プージェ

関野吉晴 著  
小峰書店 2006年

探検家である著者は、モンゴルの大草原で、馬にまたがり一人で牛を追う遊牧民の少女に出会う。彼女の名はプージェ。6歳でありながら、一家を支える立派な働き手だった。プージェ一家と交流を深め、再会を誓った著者だったが、その後の訪問で一家の変貌に直面する。自由主義国の道を歩み始めたモンゴル社会の現実が見えてくる写真絵本。

## 韓国を知る Q&A115

朝倉敏夫 著  
千里文化財団 2000年

韓国の伝統的な衣食住や、宗教や音楽、舞踊などの文化、さらに今日の社会状況に関する115の質問に具体的に答えている。どの頁にも現在の街角や暮らしを伝える生き生きとした写真がある。国立民族学博物館の「朝鮮半島の文化」の展示を見開きで紹介している。

## 中国のいまがわかる本

上村幸治 著  
岩波書店 2006年

新聞社で中国を担当していた著者が、2005年春に中国で起こった反日デモの背景を考察しつつ現代中国の政治・経済・社会の状況や近・現代史などを解説している。特に外交面での日本との関わり方は、著者が実

際にその場で見聞したエピソードが多く紹介され臨場感がある。

## はてな?なぜかしら?北朝鮮問題

池上彰 監修  
教育画劇 2004年

複雑な北朝鮮問題を1章：北朝鮮の国と政治のしくみ、2章：日本や近隣諸国との問題、3章：朝鮮半島問題と分けて、平易な言葉で解説する。日本との問題だけでも拉致被害者、核開発、ミサイル、戦後賠償、日本人妻の帰還など複数の問題がある。限られた映像でしか伝わらない北朝鮮の問題点を整理して理解するのに役立つ。

## 韓国の若者を知りたい

水野俊平 著  
岩波書店 2003年

韓国の若者（高校生と大学生）の生活や考え方をわかりやすく書いた解説書。日韓交流は進んできているが、お互いに知らないことも多い。異文化理解はまず相手を知ることから始まる。受験戦争社会の高校生たちの現状や、韓国人と日本人の対人関係に対する考え方の違い、韓国人とのつきあいかたなどを、韓国の若者の生の声をまじえて紹介している。

## 韓国の中学生

学習研究社 2003年

韓国では人口の約五分の一が首都ソウルに住んでいる。本書にはソウルの普通の公立中学校と、伝統楽器と舞踊を学ぶ国立国楽中学校の学校生活が紹介されている。また4人の中学生の日常生活も紹介されていて、日本以上に受験競争が激しい中でも、休日や習い事を楽しむ姿を見ることが出来る。

## 中国の中学生（世界の中学生 1）

学習研究社 2003年

中国の中学生数名の日常生活、時間割等が具体的に書かれている。英才教育やハードなカリキュラムなど、一生懸命学んでいる様子が伝わってくる。日本の中学生の1日と比較するのも面白い。

## 台湾の中学生

森住衛 監修

学習研究社 2006年

台湾の中学生への取材を通じて学校生活、友達や家族との接し方、将来の夢などを紹介。公立、私立、全寮制、バイリンガル教育の学校、アミ族の子どもたちが多く学ぶ学校などがとりあげられている。子どもたちは自分たちの生活との違いや共通点を見つけながら、台湾への理解を深めることができる。

## 韓国伝統文化事典：カラー日本語版

国立国語院(韓国) 編 三橋広夫, 趙完済 訳

教育出版 2006年

韓国文化の基礎用語 233語を、「料理」「服飾」「住まいと暮らし」「韓国人の一生と歳時風俗」「民俗信仰」「趣」「象徴と特産物」の7章に分けて解説。事典とあるが、一用語につき2頁をさいて解説し、カラー写真が豊富で、説明も分かりやすい。関連する諺も紹介する。巻末に五十音順の索引あり。

## 深奥的中国：少数民族の暮らしと工芸

国立民族学博物館 編 塚田誠之, 横山廣子 責任編集

東方出版 2008年

本書は、大阪の国立民族学博物館で「深奥的中国—少数民族の暮らしと工芸」展の図録である。漢民族の勢力拡大の歴史の中で、漢文化を受容しながらも独自の文化も保持し続けた少数民族。人口約1600万人の中国最多の少数民族であるチワン族やその他の西南中国少数民族の特徴ある各民族の服飾・工芸品などを通じてそのゆたかな文化を数多くの写真で見せる。実際に使われている正装の衣服や工芸品、繊細な刺繍がほどこされた幾何学的なデザインの民族衣装や精緻な銀細工を見ると、少数民族文化の造形の高さや独自性に目を見張るであろう。

## 食べ物と自然の秘密

西谷大 著

小峰書店 2003年

食べ物は、時代や地域、宗教などで違って来る。昨今その感覚が希薄

になりつつあるが、人間は自然とともに生きている。人と食べ物と自然の関係を、実際に中国や韓国を旅しながら、ギョウザ、ラーメン、豚肉など、日本でも身近な食べ物をとりあげて考察している。異文化理解についても考えさせられる本である。

## リズムにのってからだも軽く

金秀男 写真 神谷丹路 文

草土文化 1998年

伝統的な祭りや家族の行事や風習を中心にした写真に、簡単な文章がついている。特に村祭に楽器を演奏する農楽隊、民族衣装を着た子どもたちの踊りなどが新鮮で魅力的である。

## ポジャギ

金賢姫 著

文化出版局 1999年

古くから韓国で愛用されたポジャギ。日本の風呂敷のように物を包む日用品として、衣類や布団を包んだり、お膳の食器にかけたりする。形や大きさ、作り方も様々であるが、本書はパッチワーク(チョガッポ)を取り上げ、美しい作品と作り方を紹介している。

## 韓国料理

李信徳 著

柴田書店 2001年

正月料理など四季のおもてなしの膳から日常の膳まで、多数の写真で紹介。作り方も掲載されている。コチュジャン、五味子など韓国独特の調味料や素材、調理法など豊富な韓国料理に触れることができる。

## 韓国鉄道の旅：KTXで拓く新しい韓国の旅

中島廣, 山田俊英 著

JTBパブリッシング 2005年

2004年に韓国で、世界で8番目の高速鉄道KTXが走りはじめた。KTXの現況を特集し、乗車体験記を載せている。KTX開業で大きく変わった鉄道については、路線の現況、列車の運行状況を詳しく解説。鉄道でめぐる自然や歴史のコースや、車両の歴史、列車の撮影地、大都市の地下

鉄情報、車両データ資料や形式図など情報満載で、韓国の鉄道事情通になれる。

## 韓国の手仕事

田代俊一郎 著  
晩聲社 2003年

人間国宝の作る「伽耶琴<sup>カヤギム</sup>」、街角の職人の作る「紙のバツタ」、牛の角を使う「華角<sup>ファアグク</sup>」、日本にもある「螺鈿漆器」、「竹竿」など、30種の手仕事の作品世界を、それぞれの作り手の人生を織り交ぜながら紹介している。取材の中で「中国・朝鮮半島・日本の北東アジアが同じ文化圏にあることを再認識した」という著者の言葉が興味深い。

## 東アジアと日本の音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 1）

井口淳子 著 こどもくらぶ 編  
ポプラ社 2003年

中国、モンゴル、韓国、日本の民族音楽を紹介した資料。全6巻のうちの第1巻。民族楽器の写真や楽譜が掲載されており、付録のCDでは実際にそれらの楽器の音や曲を聴くことができる。音楽を通して、その国の文化を知ることができる。

## 日韓キックオフ伝説

大島裕史 著  
集英社 2002年

1954年W杯スイス大会極東予選として行なわれた日本対韓国の試合を中心に、日本の植民地支配の時代から現在に至るまでの日本と韓国のサッカーの歴史を追う。日本と朝鮮半島の歴史を綴る一方、関係者からの数々の証言を積み重ねていくことで、サッカーというスポーツの裏に潜む日韓の複雑な関係をも浮き彫りにする。

## 中国の漢字と中国語（世界の文字と言葉入門 2）

小林二男 監修 稲葉茂勝 著  
小峰書店 2004年

日本でも使われる漢字の中国での使用法と中国語の文字を紹介する

本。看板など身近なものから中国の漢字を探すページや、日本と同じ漢字で意味の違うものを探すページ、中華料理を漢字からあてるページなど、中国の簡体字を含めた漢字をクイズを解くように親しむことができる。また中国の少数民族ナシ族が今でも使う生きた象形文字「トンパ文字」を紹介する。中国語でじゃんけんをしたり、絵のようなトンパ文字を書いたりして楽しく中国語に触れて欲しい。CD付。

## 日韓類似ことわざ辞典

森下喜一，賈恵京 著  
白帝社 2000年

中国から文化を取り入れてきた日本と韓国には、似たことわざがたくさんある。本書は類似したことわざを併記し、それぞれ2つの言葉に訳している。日韓の解釈を読むと両国の文化的背景を感じ取ることができる。

## 故事成語活用小辞典

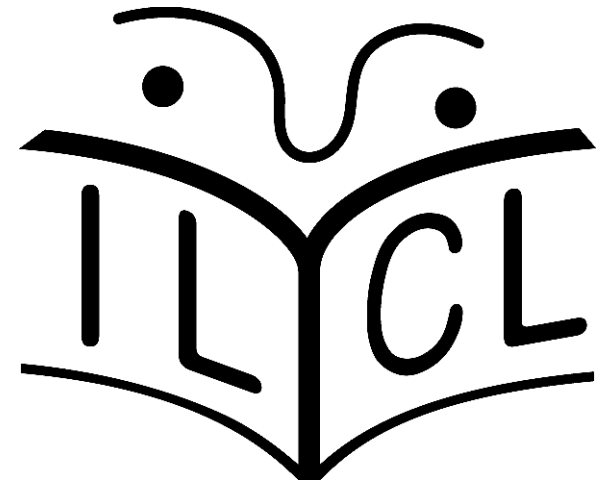
鳥羽田重直 著  
暖流社 2004年

長い歴史の中で伝えられてきた人々の知恵の結集とも言える故事成語。中国の古典が典拠の362の故事成語について、出典、類語、使われ方などを紹介している。ふり仮名がついているので読みやすく、初めて聞く故事成語もわかりやすい。ふだん何気なく使っている言葉や、耳にしたことのある言葉も数多く収録されており、改めてそれらの出典にさかのぼってみるのも興味深い。巻末に50音順の索引がある。

## 朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉（世界の文字と言葉入門 3）

野間秀樹 監修 こどもくらぶ 著  
小峰書店 2004年

「ハングル」の基本的な構造やその発音と、簡単な言葉を紹介する。あいさつの言葉のページでは礼儀作法、料理の単語のページでは食事のマナーなどが合わせて解説されており、言葉と同時に朝鮮半島の生活や文化についても知ることができる。巻末には用語索引とともに、日本語から韓国・朝鮮語への索引もある。CD付。



子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！

国立国会図書館 国際子ども図書館  
児童サービス課 企画推進係  
〒110-0007  
東京都台東区上野公園 12-49  
TEL : 03 - 3827 - 2053  
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>

2008年12月

※この冊子は返却する必要はありません。